

高信頼性ICタグ

「光り玉」は視認性がよい

装置が動作しているかどうか示すこと、またなにか指示した時に装置が反応することは人間が装置を相手にするとき装置が最低限持つべき機能と思います。

「光り玉」は名前の通りなにかあれば光ってくれるもので、人間にとって視認性のよいものです。駅でICカードをかざすと、ゲートが光るのと同じようなアクションです。もちろん必要に応じて音を出すことも可能です。

視認性がよいことは、保守作業を行うとき相手の「光り玉」が的確に反応してデータを無線で送ったことを示す合図になります。無線は目に見えないものですが、「光り玉」が光ることによりあたかも無線が見えるような感じを与えてくれます。

無線を使う装置で無線応答するとき光るという反応は保守作業者に安心感を与え効率向上にもつながるものです。

(株)R&Vはこの「光り玉」を全面的にご支援いたします。是非よろしく願いします。